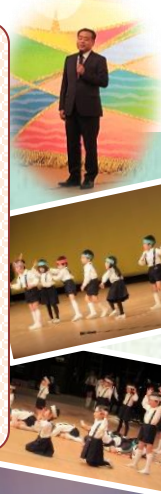


栄光八事新聞

2019年度
第3号



二月十四日(金)
瑞穂文化小劇場にて『劇あそび発表会』が行われました。クラスみんなで作り上げた劇は、見て下さるみなさんの心にも伝わったことと思います。
今年度も残りわずか…。楽しい思い出をつくらせて素敵な春を迎えましょう。

『前向きに生きる』
生きていけば、人生いろんなことが起こります。上手くいくこともあれば、立ち直れないほどの失敗もあります。しかし、どんな状況に陥ろうとも、日は昇り沈み、新しい毎日が訪れます。時は止まってはくれないのです。ならば、くよくよ考えていても何も始まらないし、何も解決していきません。振り返りは大切、でも次のステップの肥やしになるためのものであって欲しいと思います。
子どもたちの劇あそびは、前向きに生きるための道筋です。苦心しながらも、前へ前へと自分を表現していくことで、自信や達成感が得られ、強くたくましい心を育みます。
副園長 釜谷 康江

二月十八日(火)
『なわとびチャンピオン大会』
最後までよく頑張りましたね。とても素晴らしい大会でした！
年少 黄組さん、年中 赤組さんは、来年に向けて頑張つて練習しましょう。そして、年長 青組さんも、ぜひ続けて縄跳びマスターを目指しましょう！

二月二十六日(水)
幼稚園の裏山
『うるおいの森』に登りました。

一月二十八日(火) 『ドッジボール大会』
「がんばるぞー!」「おうー!」
みんな気合充分!
始めは緊張した様子でしたが、試合を重ねていく内に、真剣な表情で挑むことができました。
今日、みんなで力を合わせて頑張れたことは、大きな自信になりましたね!
鳴海ヶ丘幼稚園のお友だちと先生方、対戦していただき、ありがとうございました。

「うるおいの森」では、かつての天白溪の豊かな自然を目指し、起伏に富んだ地形を生かしながら、散策や自然観察の場として雑木林を保全するとともに、市内では貴重となった湿地や湧水池を再生しています。

『人間っていいな』
先日NHKス、シャル「食の起源」を観ました。人間が進化の過程でなぜ美食家になったのか、脳の仕組みからひもといていました。
「おいしい」と感じるのは、以外にも「ことば」が関係しています。同じ料理を異なる料理名で食べる実験では、A「 pasta 風ズッキーニと大根の炒め物」、B「モチシャキ二色麺の創作ペロンチーノ」では、おいしさがAの60%に対して、Bは87%と上昇しました。人間には「ことば」でおいしさを感じる不思議な能力があるのです。そして誰かと一緒に食事をとるとき、脳から放出される「オキシトシン」(愛情ホルモン)が、一人で食べるときに比べて、5倍の量増えることがわかりました。これらは、食を共にすることで絆を育んできた人類の進化と繁栄によるものです。
「人間っていいな」という歌があります。♪おいしいおやつに ぽかぽかごはん ♪ みんなでなかよく ポチャポチャおふる ♪ こどもの帰りを待つてるだるな ぽくも帰ろ お家へ帰ろ ♪ この歌詞は、クマの子が感じた人間の良さなのでしょう。
少し早い春休みになります。ご家庭でいっしょに、なかよく食卓を囲み、お風呂に入って、人間ならではのよるこびを春の訪れとともに味わいましょう。
園長 岡田 勝彦

前向きに 生きる



二月三日(月) 豆まき会
「鬼はーそと! 福はーうちー!」
みんなの心の中にある泣き虫鬼や怒りんぼ鬼を退治し、一年間の健康を祈ります



園長 岡田 勝彦